

全医・病会議発第 82 号
令和 5 年 7 月 7 日

厚生労働省
保険局長 伊 原 和 人 殿

一般社団法人 全国医学部長病院長会議
会 長 横 手 幸 太 郎

令和 6 年度診療報酬改定に関する重点要望事項

平素より大学病院の活動に対するご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

大学病院では、令和 6 年度からの医師の働き方改革を円滑に実現するため、医師の労働時間短縮に伴い想定される高度医療の提供や地域医療維持などの諸課題に対応していく必要があります。また、物価高騰による経営的な負担も非常に大きくなっています。

大学病院の本来の機能はもはや危機的な状況を迎えており、文部科学省においても、大学病院の医学教育の在り方に関する検討会が開催されていますが、厚生労働省においても今後の我が国の高度医療の提供や地域医療の維持ならびに電気料金をはじめとした物価高騰への対応をご検討いただいておりますので、主に以下の項目について、令和 6 年度診療報酬改定において適切な評価を要望いたします。

1. 大学病院の機能を評価できる診療報酬体制の見直し

大学病院は高度医療人材の養成や高度医療の提供を使命として、地域の中核的医療機関としての機能の他に、医師派遣により地域医療維持の役割を担っています。特に、新型コロナウイルス感染症の診療では地域医療の最後の砦として高度な医療を提供することができました。令和6年度には、医師の働き方改革に向けてタスクシフトや効率化を進め、一般医療機関とは違い教育・研究・診療の質も落とすことなく、医師の労働時間短縮に対応していく必要があります。このような状況の中でも本来の大学病院の機能を維持していく必要がありますので、大学病院としての機能を評価いただくよう要望します。

① 医師派遣する大学病院への評価

大学病院が地域医療を支えるための医師派遣について評価いただき、大学病院本院群に設定されている医療機関別係数等での評価を要望します。

例) 医師の不足している地域への派遣

救命救急センター等への派遣

高度な手術支援への派遣

地域で特に必要とする医療への専門医の派遣

「例：周産期医療、小児医療、感染症対応など」

② 高額医薬品の取扱いに対する支援

大学病院では高度医療を提供するため高額医薬品の投与が必要な患者が多数入院し、高額医薬品自体も年々増加しています。高額医薬品を取り扱う場合には、使用に至るまでに薬剤保管やミキシング作業等が必要となり通常の薬剤と異なる高度な管理が必要でコストが発生します。さらに、投与が中止になったときには大学病院が薬品費を負担することになります。大学病院として高額医薬品を必要とする患者への治療を続けていくためには、取扱い時に発生する管理コストへの診

療報酬上の支援を要望します。

③ 多職種、多診療科でのタスクシェアの支援

労働時間の上限規制を守るために現在大学病院は特定行為看護師の養成や医師事務作業補助者の確保など急ピッチで多職種連携を推進しています。大学病院の複雑な病態の患者を対応するためにも多職種連携は重要であり、診療報酬上の支援を要望します。また、大学病院は地域医療の最後の砦であり、複雑な基礎疾患を多く抱えていたり、社会的問題を抱えている患者が多く受診しています。そのような患者は多くの診療科のコンサルトを必要としたり看護師や社会福祉士が多種多様な社会制度を利用できるように環境を整えたり、現在の診療報酬で評価しきれていない側面があります。

地域の医療機関で対応できないそのような多診療科、多職種の連携が重要な患者に対する診療報酬上の支援を要望します。

2. 光熱水費・物価高騰に対する支援

① 入院料（見直し）

大学病院では、エネルギー消費量が大きい大型医療機器を多数設置していることから、他医療機関に比べて光熱水費等の物価高騰の影響は非常に大きなものになっています。大学病院の機能を維持していくためにも光熱水費・物価高騰に対する入院料等の増額を要望します。

② 入院時食事療養費（見直し）

重症患者を多く抱える大学病院における食事療養は治療の一環としてその重要性が高まってきております。このような中で入院時食事療養費（I）は、20年以上増額されてない状況にあります。その間、2度の消費税増税、光熱水費、食材費や人件費の上昇により、食事療養の

提供が非常に厳しい状況におかれています。このため、入院時食事療養費の増額を要望します。

③ 診療材料費（見直し）

診療報酬制度の下では、診療材料費の上昇に対して、診療報酬請求に反映することはできません。これまでに行ってきた経営努力は既に限界となっており、このままでは大学病院の使命である高度医療を安定的に提供することが困難になるおそれがありますので、診療材料費の高騰に対応した診療報酬請求額の増額を要望します。